

工藤寿樹市長に寄付の目録を手渡す村田信吾社長（手前右）



ドローン導入費を寄付

函館の昭栄設備、市に850万円

管工事業の昭栄設備工業（函館市美原）は、災害時に情報収集を行うドローン（小型無人機）の導入費など850万円を函館市に寄付し、工藤寿樹市長から感謝状を受け取った。

同社は今年5月に創立50周年を迎えるのを前に、今月14日に寄付をした。同社の村田信吾社長は「災害時には職員を現場に派遣する

こともある。防災関連に役立ててほしい」と話した。

市は土砂災害や森林火災の現場などで状況把握のため、使うドローン1機と、救急救命処置の訓練を行う人形2体を購入予定。工藤市長は「災害や救急搬送は必ずあることで油断できない。有効に使わせてもらいたい」と話した。

（鹿内朗代）